

意見等の提出方法

案 件	社会資本総合整備計画「茨木市総合交通戦略」 事後評価シート（原案）について
公表場所	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ ・ 市街地新生課担当窓口（市役所南館 5 階） ・ 情報ルーム（市役所南館 1 階）
提出方法 提出先	<ul style="list-style-type: none"> ・ 郵送 〒567-8505 茨木市都市整備部市街地新生課宛（住所不要） （最終日の消印有効） ・ F A X 072-620-1730 ・ Eメール shigaichi@city.ibaraki.lg.jp ・ 担当課への書面の提出 茨木市役所南館5階 市街地新生課窓口 ・ 簡易電子申込システム ホームページから専用フォームに入力
公 表 日	平成28年11月8日
意見等募集期間	平成28年11月8日から12月7日まで
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本制度の趣旨に沿った責任ある意見を提出していただくため、また意見への照会等の必要性から住所（団体の場合は所在地）、氏名、連絡先を明記のうえご提出ください。 ・ 意見の公表にあたっては、ご記入いただく住所（団体の場合は所在地）、氏名、連絡先など個人に関する情報は公表しません。また、募集目的以外の用途には使用しません。 ・ いただいた意見等を取りまとめ、それに対する市の考え方を公表いたします。 ・ 意見を考慮して、最終案を作成しますが、個別には回答いたしません。 ・ 提出の様式は定めませんが、どの項目の何についての意見かを明確にしてください。
公表資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会資本総合整備計画「茨木市総合交通戦略」事後評価シート（原案） ・ 今後のスケジュール ・ 【参考資料】事後評価シート（原案）についての補足資料 ・ 【参考資料】社会資本総合整備計画「茨木市総合交通戦略」
案件に対する 問合せ先	都市整備部 市街地新生課 電 話：072-620-1821 F A X：072-620-1730 Eメール： shigaichi@city.ibaraki.lg.jp

社会資本総合整備計画
茨木市総合交通戦略

事後評価シート(原案)

平成28年 11月

大阪府茨木市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大阪府		市町村名	茨木市		計画名	茨木市総合交通戦略			面積	3.6ha		
交付期間	平成24年度～28年度		事後評価実施時期	平成28年度		交付対象事業費	11,472(百万円)	国費率	0.35				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	(仮称)JR総持寺駅整備事業・西河原歩専14号線・庄歩専24号線										
		提案事業	なし										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし										
		提案事業	なし										
新たに追加した事業	基幹事業	庄中央線・(仮称)JR総持寺駅前駐輪場・総持寺駅前線・総持寺9号線・JR茨木駅駅舎改良事業			新たに整備が必要になったため			地区計画区域内の人口に関連するが、指標及び数値目標は据え置く					
	提案事業	なし											
交付期間の変更	当初	平成24年度～28年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし							
	変更	—											
2)社会資本総合整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	庄一丁目地区地区計画区域内の人口	人	0	H24	1,200	H28	—	1,141	△	あり	平均世帯人数(2.7人)が予想値(3人)よりも少なく目標値を達成できなかったが、住宅戸数では目標値400戸に対し評価値421戸で目標を達成した。また、アクセス道路整備など都市基盤整備により居住環境が向上し、着実に人口定着が図られている。	H30.5
	指標2	五反田橋梁下を通過する車両の桁接触事故件数	件/年	4	H24	0	H28	—	0	○	あり	五反田橋梁の改築により、空頭高さが3.0mから3.8mに改善され、車両の桁接触事故が無くなり、通行の安全性が向上した。また、大型バス(3.7m)や大型緊急車両の通行が可能となり、交通の利便性や防災機能が向上した。	H30.5
指標3	JR茨木駅の年間乗降客数	人/年(人/日)	32,352,870(88,638)	H24	33,812,870(92,638)	H28	—	35,129,060(96,244)	○	あり	立命館大学開学に伴う駅利用者の増加に加え、駅東口駅前広場の整備(デッキやエスカレーター等)により、交流空間の創出など駅利用者の利便性が向上した。今後も駅構内の整備等、更なる駅利用者の増加が見込まれる。	H30.5	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1	(仮称)JR総持寺駅周辺(半径700m圏内)の新設住宅戸数	戸	96	H24	/	/	—	635	/	/	駅周辺地域においても、駅や駅周辺道路整備などの都市基盤整備を契機とした住宅供給が増加している。	H30.5	
その他の数値指標2	庄一丁目地内の公示価格(標準地)の変動率	%	100	H24	/	/	—	102.2	/	/	都市基盤整備を契機に地価が上昇傾向であり、市域全体の住宅地の地価変動率と比べても高い。また、新駅開業後は地価がより上昇すると予想される。	H31.3	
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者団体と駅および駅周辺道路のバリアフリー化について意見交換することで、誰もが利用しやすい施設整備に配慮することができた。 駅の完成イメージパースや五反田橋梁の空頭高さ改善PR文書を工事仮囲いに掲示することで、地域住民の駅開業に向けた機運を高めることができた。 新駅や周辺道路整備が評価され、学校法人・追手門学院が周辺地区(東芝大阪工場跡地)に新キャンパスの開学と中・高等学校の移転が検討されている。 												
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	なし				社会資本総合整備計画に記載し、実施できた 社会資本総合整備計画に記載はなかったが、実施した 社会資本総合整備計画に記載したが、実施できなかった					—		
	住民参加プロセス	茨木市総合交通戦略協議会、茨木市自転車利用環境整備計画協議会、茨木市バリアフリー基本構想協議会への市民委員の参加				社会資本総合整備計画に記載し、実施できた 社会資本総合整備計画に記載はなかったが、実施した 社会資本総合整備計画に記載したが、実施できなかった					● 今後も駅および駅周辺道路整備のバリアフリー化等について意見収集を行い、関係機関と協議のうえ検討していく。		
持続的なまちづくり体制の構築	茨木市バリアフリー基本構想協議会				社会資本総合整備計画に記載し、実施できた 社会資本総合整備計画に記載はなかったが、実施した 社会資本総合整備計画に記載したが、実施できなかった					● 重点整備地区内における事業計画として、関係機関と協議のうえ検討していく。			

様式2-2 地区の概要

茨木市総合交通戦略(通常) 社会資本総合整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
・鉄道駅の設置や公共交通機関の導入により交通結節機能を強化し、活力ある居住環境を形成する。 ・架道橋改築により、鉄道下を通過する車両の安全性を高める。 ・鉄道駅の改築により、駅利便性の向上と利用促進を図るとともに、駅を中心とする市街地中心部の活性化を目指す。	庄一丁目地区地区計画区域内の人口	単位:人 0 H24	1,200 H28	1,141 H28
	車両の桁接触事故件数	単位:件/年 4 H24	0 H28	0 H28
	JR茨木駅の年間乗降客数	単位:人/年 32,352,870 H24	33,812,870 H28	35,129,060 H28
		単位: 単位:	H H	H H

A1 (仮称)JR総持寺駅・整備状況(H28.10)



A8 JR茨木駅・完成イメージ図

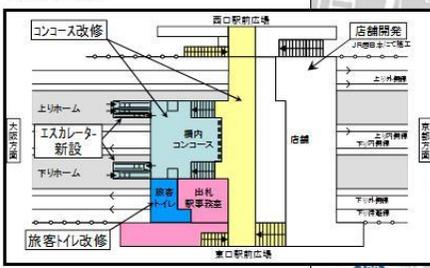


西日本旅客鉄道(株)HPより引用

【庄一丁目地区】



【JR茨木駅】



A1 五反田橋梁・空頭改善



A6 総持寺駅前線・歩道整備



まちの課題の変化

・駅開設(平成30年3月)など都市基盤整備を契機に住宅需要が高まり、活力ある居住環境が形成された。
 ・五反田橋梁の改築により空頭高さが3.0mから3.8mに改善され、鉄道下を通過する大型車両の安全性が高まった。また、大型バス(3.7m)や大型緊急車両の通行が可能となり、交通の利便性や防災機能が向上した。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

・2期計画として、阪急総持寺駅西口交通広場の整備が予定されており、駅前広場に乗り入れるバス路線の開通など総持寺地域の交通利便性の向上を図る。
 ・継続中の歩道整備工事等を早期に完成させ、安全で快適な歩行者・自転車ネットワークの充実を図る。
 ・JR茨木駅構内(エスカレーター設置等)や西口における、駅利用者の利便性向上や利用促進を図るとともに、市の玄関口としてのイメージアップやにぎわい創出を図る。

社会資本総合整備計画 「茨木市総合交通戦略」 今後のスケジュール

- 事後評価シート(原案)の公表(パブリックコメント)
平成28年11月8日から12月7日までの1ヶ月間
- 建設事業評価委員会の開催(平成29年1月予定)
- パブリックコメントの意見と市の考え方を公表(平成29年2月予定)
- 事後評価結果の国への報告
事後評価シートの公表 (平成29年3月)
- フォローアップ (平成30年5月頃)
計画終了後に実施

社会資本総合整備計画「茨木市総合交通戦略」 事後評価シート（原案）についての補足資料

①社会資本総合整備計画「茨木市総合交通戦略」の概要

- ・本計画は、平成 24 年度から平成 28 年度まで 5 年間の計画を作成し、2 地区（庄一丁目地区と JR 茨木駅地区）で 8 事業を実施しています。
- ・平成 29 年度から 2 期計画を予定しており、終了年度である今年度に事後評価を実施します。

（１）庄一丁目地区の概要

- ・（仮称）JR 総持寺駅は、JR 茨木駅と JR 摂津富田駅間 L=3.7km の間に位置し、平成 30 年 3 月の駅開業に向け整備を進めています。駅舎は盛土下駅舎、乗降場は島式ホームで、一日の想定乗降客数は約 16,700 人/日です。
- ・駅周辺道路整備として、駅舎への歩行者専用道路や自由通路整備、駅周辺道路の歩道整備等を進めています。
- ・関連事業として、駅周辺のマンション開発事業者が、駅へのアクセス道路や駅前広場整備を進めています。

（２）JR 茨木駅地区の概要

- ・JR 茨木駅構内へのエスカレーター（上り 3 基/下り 2 基）や旅客トイレ設置等の駅舎改良を進めています。なお、エスカレーターは平成 29 年春に使用開始を予定しています。
- ・関連事業として、平成 26 年度に JR 茨木東口駅前広場のデッキ拡大やエレベーター・エスカレーターの整備が行われました。

②社会資本総合整備計画で定める計画目標と事業

（１）計画目標

- 目標 1：鉄道駅の設置や公共交通機関の導入により交通結節機能を強化し、活力ある居住環境を形成する。
- 目標 2：架道橋改築により、鉄道下を通過する車両の安全性を高める。
- 目標 3：鉄道駅の改築により、駅利便性の向上と利用促進を図るとともに、駅を中心とする市街地中心部の活性化を目指す。

（２）事業内容 ※基幹事業のみ

- ① （仮称）JR 総持寺駅整備事業：鉄道駅設置・架道橋（五反田橋梁）改築
- ② 西河原歩専 14 号線：自由通路(L=27m/W=4.0m)・歩道整備(L=138m/W=4.5m)
- ③ 庄歩専 24 号線：歩道整備(L=80m/W=5.0m)
- ④ 庄中央線：歩道整備(L=420m/W=12m うち歩道 2.5m(両側))
- ⑤ （仮称）JR 総持寺駅駅前駐輪場：駐輪場の整備 (A=2,629 m²)
- ⑥ 総持寺駅前線：歩道整備(L=1,200m/W=12~13m うち歩道 2.5~3.0m(両側))
- ⑦ 総持寺 9 号線：付替え道路整備(①L=150m/W=6.5m②L=70/W=5.0m)・横断歩道橋設置
- ⑧ JR 茨木駅駅舎改良事業：鉄道駅改良(エスカレーターや旅客トイレ設置等)

（３）関連事業

- ① （仮称）JR 総持寺駅駅前広場の整備：駅前広場整備 (A=2,350 m²)
- ② アクセス道路（庄 23 号線）の整備：歩道整備(L=270m/W=12m うち歩道 3.0m(両側))
- ③ JR 茨木駅東口駅前広場整備：デッキ整備(2,600 m²)、エスカレーター(6 基)等
- ④ JR 茨木駅店舗開発：駅店舗開発 (A=1,100 m²)

(4) 主たる事業の状況写真

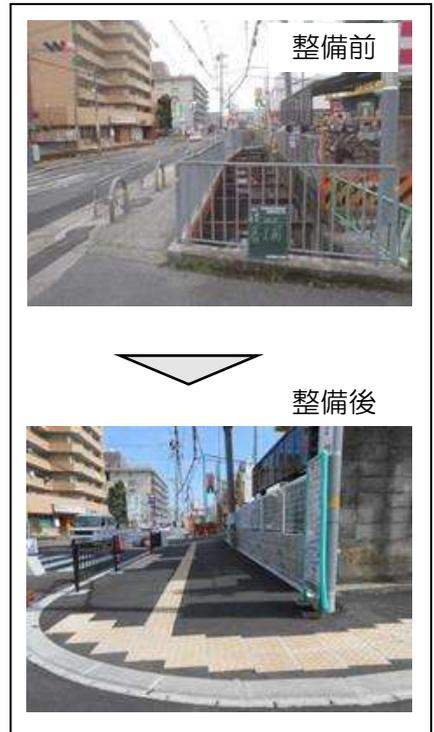
A1 (仮称)JR 総持寺駅



A1 五反田橋梁



A6 総持寺駅前線



A8 JR 茨木駅駅舎改良



関連事業 (アクセス道路)



関連事業 (JR 茨木駅東口駅前広場)



※平成 28 年度末の整備実績は、A1 五反田橋梁の改築と A4 庄中央線の歩道整備 60m、A6 総持寺駅前線の歩道整備 240m となっております。基幹 8 事業は平成 28 年度以降も事業中であり、平成 30 年 3 月の駅開業に合わせて、供用開始することになります。

③目標を定量化する指標の達成状況

- ・社会資本総合整備計画の作成にあたり、目標を定量化した数値指標として、指標①「庄一丁目地区地区計画区域内の人口」、指標②「五反田橋梁下を通過する車両の桁接触事故件数」、指標③「JR 茨木駅の年間乗降客数」を設定しました。また、数値目標 1 の補足指標として、「(仮称) JR 総持寺駅周辺（半径 700m 圏内）の新設住宅戸数」と「庄一丁目地内の公示価格（標準地）の変動率」を設定しました。

そして、今回の事後評価において、以下のとおり事業の実施による数値指標の達成の有無についての検証を行いました。なお、計画の最終年度に事後評価を実施するため、事後評価時点において全ての事業が完了していないことから、今回は見込値として計測することとし、事業終了後（新駅開業後の平成 30 年 5 月頃等）にあらためてフォローアップを行います。

(1) 指標 1：庄一丁目地区地区計画区域内の人口（人）

従前値		目標値		評価値		達成状況
	基準年度		目標年度		評価時期	
0 人	H24	1,200 人	H28	1,141 人	H28.9	未達成

- ・従前値は地区計画区域内のマンション開発が未整備のため 0 人、目標値は計画戸数 400 戸×平均世帯人数 3 人で 1,200 人と設定しました。
- ・評価値は、平成 28 年 9 月末の住民基本台帳の住所別世帯構成一覧データより集計しました。
- ・事業による効果発現要因として、平均世帯人数（2.7 人）が予想値（3 人）よりも少なく目標値を達成できなかったが、住宅戸数では目標値 400 戸に対し評価値 421 戸で目標を達成した。
また、アクセス道路整備など都市基盤整備により居住環境が向上し、着実に人口定着が図られていることが考えられます。

(2) その他の数値指標①：(仮称) JR 総持寺駅周辺(半径 700m 圏内)の新設住宅戸数（戸）

従前値		目標値		評価値	
	基準年度		目標年度		評価時期
96 戸	H24	—	—	635 戸	H28.4

- ・従前値、評価値ともに建築確認申請より集計し、設定しました。
- ・半径 700m 圏内は、(仮称) JR 総持寺駅を中心に元茨木川緑地や国道 171 などの道路を包括するエリアで設定しました。なお、(仮称) JR 総持寺駅と JR 茨木駅の駅間距離は 2km です。
- ・効果発現要因として、駅周辺地域においても、駅や駅周辺道路などの都市基盤整備を契機とした住宅供給が増加していると考えられます。

(3) その他の数値指標②：庄一丁目地内の公示価格（標準地）の変動率（%）

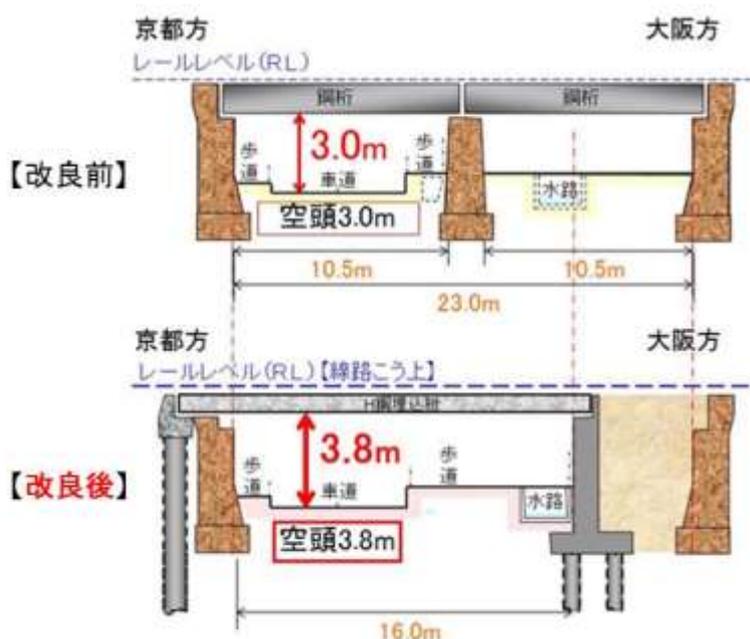
従前値		目標値		評価値	
	基準年度		目標年度		評価時期
100%	H24	—	—	102.2%	H28.3

- ・従前値、評価値ともに国土交通省が公表する地価公示価格を用いて、算出しました。
- ・事業による効果発現要因として、都市基盤整備を契機に地価が上昇傾向であり、市域全体の住宅地の地価変動率と比べても高い。また、新駅開業後は地価がより上昇すると考えられます。

(4) 指標2：五反田橋梁下を通過する車両の桁接触事故件数（件／年）

従前値		目標値		評価値		達成状況
	基準年度		目標年度		評価時期	
4 件／年	H24	0 件／年	H28	0 件／年	H28.9	達成

- ・従前値は施設管理者である西日本旅客鉄道（株）に事故件数を確認し、過去7年間（H16～22）の平均値で4件、目標値は0件と設定しました。
- ・評価値は、空頭高さ改善後（H28.7.25以降）の事故件数である0件としました。
- ・事業による効果発現要因として、五反田橋梁の改築により、空頭高さが3.0mから3.8mに改善され、車両の桁接触事故が無くなり、通行の安全性が向上した。また、大型バス（3.7m）や大型緊急車両の通行が可能となり、交通の利便性や防災機能が向上したことが考えられます。



(5) 指標3：JR 茨木駅の年間乗降客数（人／年）

従前値		目標値		評価値		達成状況
	基準年度		目標年度		評価時期	
32,352,870 人／年	H24	33,812,870 人／年	H28	35,129,060 人／年	H28.5	達成
88,638 人／日平均		92,638 人／日平均		96,244 人／日平均		

- ・従前値は、西日本旅客鉄道（株）が公表する茨木駅一日平均乗車人員より算出しました。
- ・目標値は、立命館大学の学生がJR茨木駅を利用する予測値を参考に、一日乗降客数4,000人×365日で年間146万人の増加を見込み設定しました。
- ・事業による効果発現要因として、立命館大学開学に伴う駅利用者の増加に加え、駅東口駅前広場の整備（デッキやエスカレーター等）により、交流空間の創出など駅利用者の利便性が向上した。また、今後も駅構内の整備等、更なる駅利用者の増加が見込まれると考えられます。

④定性的な効果発現状況

・上記数値指標による効果発現状況のほか、次の定性的な効果発現状況があったと考えられます。

- 障がい者団体と駅および駅周辺道路のバリアフリー化について意見交換することで、誰もが利用しやすい施設整備に配慮することができた。
- 駅の完成イメージパースや五反田橋梁の空頭高さ改善 PR 文書を工事仮囲いに掲示することで、地域住民の駅開業に向けた機運を高めることができた。
- 新駅や周辺道路整備が評価され、学校法人・追手門学院が周辺地区（東芝大阪工場跡地）に新キャンパスの開学と中・高等学校の移転が検討されている。

⑤実施過程の評価

・社会資本総合整備計画に記載した数値目標の達成状況を評価することとあわせて、今回の結果に至るまでの実施過程を評価しました。

(1) 住民参加プロセス

- 実施内容：茨木市総合交通戦略協議会、茨木市バリアフリー基本構想協議会等への市民委員の参加
- 実施結果：対象地区を含む中心市街地の活力創出やバリアフリー化に向けた検討を実施
- 今後の対応方針
今後も駅および駅周辺道路整備のバリアフリー化等について意見収集を行い、関係機関と協議のうえ検討していく。

(2) 持続的なまちづくり体制の構築

- 実施内容：茨木市バリアフリー基本構想協議会
- 実施予定：各年度1回予定
- 今後の対応方針
重点整備地区内における事業計画として、関係機関と協議のうえ検討していく。

⑥まちの課題の変化

- ・駅開設(平成30年3月)など都市基盤整備を契機に住宅需要が高まり、活力ある居住環境が形成された。
- ・五反田橋梁の改築により空頭高さが3.0mから3.8mに改善され、鉄道下を通過する大型車両の安全性が高まった。また、大型バス(3.7m)や大型緊急車両の通行が可能となり、交通の利便性や防災機能が向上した。

⑦今後のまちづくり方策

- ・2期計画として、阪急総持寺駅西口交通広場の整備が予定されており、駅前広場に乗り入れるバス路線の開設など総持寺地域の交通利便性の向上を図る。
- ・継続中の歩道整備工事等を早期に完成させ、安全で快適な歩行者・自転車ネットワークの充実に図る。
- ・JR茨木駅構内(エスカレーター設置等)や西口における、駅利用者の利便性向上や利用促進を図るとともに、市の玄関口としてのイメージアップやにぎわい創出を図る。

社会資本総合整備計画
茨木市総合交通戦略
(第4回変更)

平成28年3月18日
大阪府茨木市

社会資本総合整備計画

平成28年3月18日

計画の名称	12 茨木市総合交通戦略							重点計画の該当																					
計画の期間	平成24年度 ~ 平成28年度 (5年間)			交付対象	茨木市																								
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道駅の設置や公共交通機関の導入により交通結節機能を強化し、活力ある居住環境を形成する。 ・架道橋改築により、鉄道下を通過する車両の安全性を高める。 ・鉄道駅の改築により、駅利便性の向上と利用促進を図るとともに、駅を中心とする市街地中心部の活性化を目指す。 																												
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・地区計画区域内の居住人口の増加 ・五反田橋梁下を通過する車両の桁接触事故の減少 ・JR茨木駅の乗降客数の増加 																												
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">①庄一丁目地区地区計画区域内の人口 【地区計画区域内の居住人口 (人)】</th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H24当初)</th> <th>中間目標値 (H26末)</th> <th>最終目標値 (H28末)</th> </tr> <tr> <td>0人</td> <td></td> <td>550人</td> <td>1,200人</td> <td rowspan="3">・茨木市総合交通戦略に基づき実施される要素事業：A全て ※過去7年間(H16~H22)の平均</td> </tr> <tr> <th>②車両の桁接触事故件数 【五反田橋梁下を通過する車両の桁接触事故件数 (件/年)】</th> <td>4件/年※</td> <td>-</td> <td>0件/年</td> </tr> <tr> <th>③JR茨木駅の年間乗降客数 【JR茨木駅の年間乗降客数 (人/年)】</th> <td>32,352,870人/年 (88,638人/日平均)</td> <td>-</td> <td>33,812,870人/年 (92,638人/日平均)</td> </tr> </table>							①庄一丁目地区地区計画区域内の人口 【地区計画区域内の居住人口 (人)】	定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H28末)	0人		550人	1,200人	・茨木市総合交通戦略に基づき実施される要素事業：A全て ※過去7年間(H16~H22)の平均	②車両の桁接触事故件数 【五反田橋梁下を通過する車両の桁接触事故件数 (件/年)】	4件/年※	-	0件/年	③JR茨木駅の年間乗降客数 【JR茨木駅の年間乗降客数 (人/年)】	32,352,870人/年 (88,638人/日平均)	-	33,812,870人/年 (92,638人/日平均)	
①庄一丁目地区地区計画区域内の人口 【地区計画区域内の居住人口 (人)】	定量的指標の現況値及び目標値			備考																									
	当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H28末)																										
0人		550人	1,200人	・茨木市総合交通戦略に基づき実施される要素事業：A全て ※過去7年間(H16~H22)の平均																									
②車両の桁接触事故件数 【五反田橋梁下を通過する車両の桁接触事故件数 (件/年)】	4件/年※	-	0件/年																										
③JR茨木駅の年間乗降客数 【JR茨木駅の年間乗降客数 (人/年)】	32,352,870人/年 (88,638人/日平均)	-	33,812,870人/年 (92,638人/日平均)																										
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	11,472百万円	A	11,472百万円	B	百万円	C	百万円	D	百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0%																	
交付対象事業																													
A 基幹事業																													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考														
									H24	H25	H26	H27	H28																
12-A1	都市交通	一般	茨木市	間接	J R 西日本	(仮称) JR総持寺駅整備事業	鉄道駅設置・架道橋改築	茨木市						5,604															
12-A2	道路	一般	茨木市	直接	茨木市	西河原歩専14号線	自由通路・歩道整備L=165m	茨木市						479															
12-A3	道路	一般	茨木市	直接	茨木市	庄歩専24号線	歩道整備L=80m	茨木市						6															
12-A4	道路	一般	茨木市	直接	茨木市	庄中央線	歩道整備L=420m	茨木市						700															
12-A5	道路	一般	茨木市	直接	茨木市	(仮称) JR総持寺駅前駐輪場	駐輪場整備A=2,629㎡	茨木市						449															
12-A6	道路	一般	茨木市	直接	茨木市	総持寺駅前線	歩道整備L=1200m	茨木市						1,675															
12-A7	道路	一般	茨木市	直接	茨木市	総持寺9号線	付替え道路整備・横断歩道橋設置等	茨木市						369															
12-A8	都市交通	一般	茨木市	間接	J R 西日本	JR茨木駅駅舎改良事業	鉄道駅改良	茨木市						2,190															
									合計					11,472															
B 関連社会資本整備事業 (該当なし)																													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考														
									H24	H25	H26	H27	H28																
									合計																				
C 効果促進事業																													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考														
									H24	H25	H26	H27	H28																
									合計																				
番号												備考																	
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考														
									H28	H29	H30	H31	H32																
									合計																				
												備考																	

計画の名称	12 茨木市総合交通戦略	交付対象	茨木市
計画の期間	平成24年度～平成28年度 (5年間)		

